

Information

豊田理化学研究所

井口洋夫記念ホール完成

2018年3月に豊田理化学研究所の敷地内に井口洋夫記念ホールが竣工されました。5月16日に披露式が行われ、分子研関係からは大峯前所長、岡本総主幹らが出席しました。

井口洋夫先生は、分子科学研究所創設期、第三代所長、機構長（当時は生理学研究所、基礎生物学研究所の3機関で岡崎国立共同研究機構でした）と長い間分子研の発展にご尽力

されました。また、豊田理化学研究所の発展にも多大な貢献をされており、井口洋夫記念ホールは井口先生の輝かしい功績を後世に伝えるとともに、豊田理研フェローの研究成果を世の中に発信する場として活用する目的で建設されました。既存の建物や池との調和が素晴らしく、自然に溶け込む佇まいとなっています。

井口洋夫記念ホールには井口先生の分子研での活躍を紹介する展示コーナーがあります。2017年7月に写真提供の依頼が広報室にあり、9月に打ち合わせを行い、最終的に7枚ほどのお写真を提供しました。分子研の建物、皇太子様（現在の天皇陛下）分子研ご訪問、UVSOR建設決定時のグループ、井口先生の最終講義、井口先生記念樹植樹式。そして、実験棟とレーザーセンター棟の間の中庭に建立されている石碑の拓本。分子研初期の時代からのお写真は装置開発室の水谷さんにも写真提供にご協力を頂きました。

皆様も機会がございましたら是非立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

(広報)



Photo by FUMITO SUZUKI

回廊エリア
分子科学研究所の創設と発展についてパネルで紹介しています。



展示コーナー
井口先生ほか、有機半導体・導体の科学史も展示されています。

第8回豊田理研（国際）ワークショップ開催案内

井口洋夫記念ホールにおける最初の国際ワークショップが豊田理研主催、分子研・東大物性研の共催で本年10月に開催されます。ワークショップのタイトルは、"Organic Semiconductors, Conductors, and Electronics"というもので、「有機半導体」の研究から広がった有機伝導体、超伝導体、量子スピン液体、電子ガラスなどに関する基礎的な物性研究と、それらに関連する有機エレクトロニクスまでの広い分野をカバーする国際会議になります。議長は榎敏明先生（豊田理化学研究所客員フェロー）、齋藤軍司先生（豊田理化学研究所元客員フェロー）で、詳細は以下のホームページでご覧になれます。

開催日：2018年10月24日（水）～26日（金）

開催場所：豊田理化学研究所 井口洋夫記念ホール

Web サイト：<http://www.organic.toyotariken.jp/>

(山本 浩史 記)